

関経連は、東日本大震災からの復旧・復興を全力で応援します。

# 関西経済レポート

関西の各種指標をみると、海外経済減速などの影響から足踏み状態が継続し、一部で弱含みの動きが見られる。

輸出は、中国を含むアジア向け、欧州向けの減少が続き、厳しい状態が続く。

雇用・消費では、わずかに改善の動きが見られる。

先行きについては、円高の緩和・株高・経済対策の効果により、景気回復への期待が大きい。



2013年1月31日

関経連経済調査部

本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

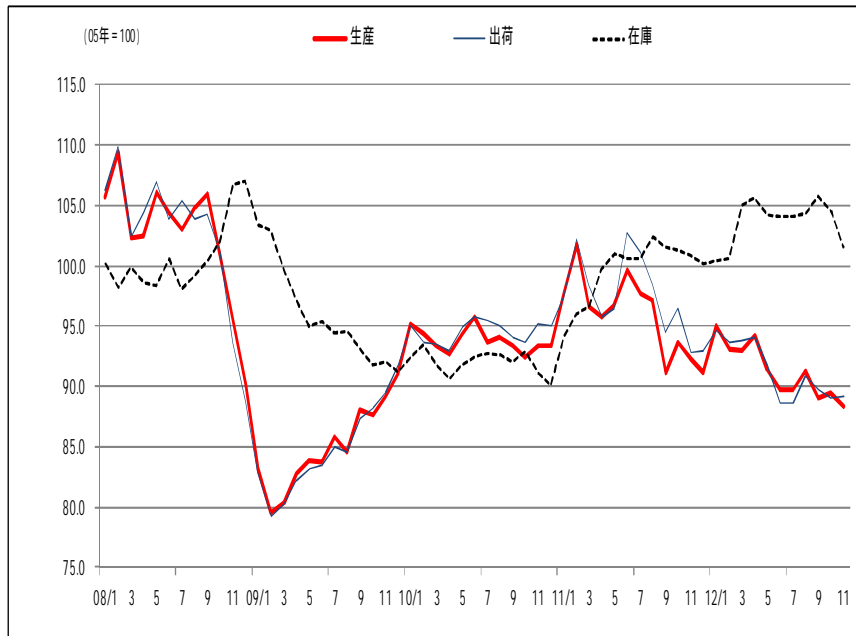
ただし鉱工業生産、大型小売店販売額については、福井県を含む2府5県。

~ 目次 ~

生産	・ ・ ・ ・ ・	1
輸出入	・ ・ ・ ・ ・	2
個人消費	・ ・ ・ ・ ・	3
雇用	・ ・ ・ ・ ・	4

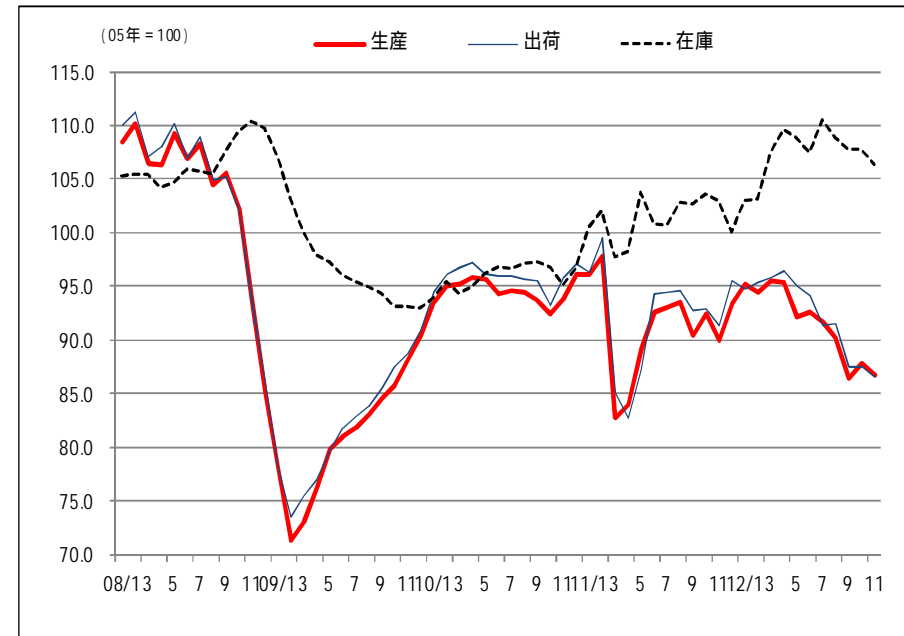
# ～ 生産 ～

鉦工業指数の推移（近畿 2012年11月確報まで）



（出所）近畿経済産業局

鉦工業指数の推移（全国 2012年11月確報まで）

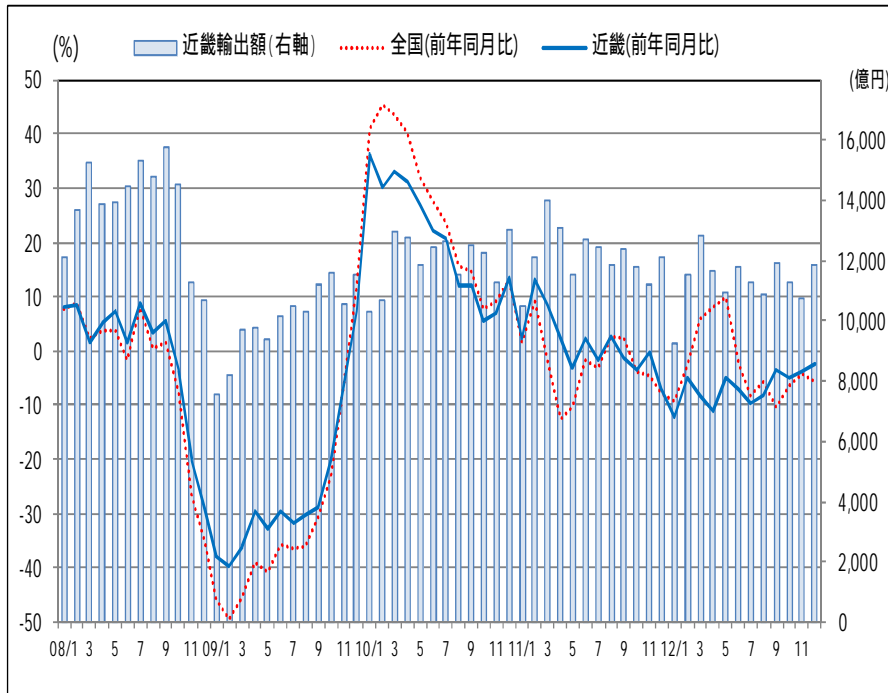


（出所）経済産業省

- ・ 近畿の11月（確報）の鉦工業生産指数は、88.3。前月比 1.2%と2カ月ぶりの低下。総じて見れば、生産は弱含み。  
 出荷は前月比 +0.1%の89.2と、3カ月ぶりの上昇。在庫は、前月比 2.8%の101.6と2カ月連続の低下。  
 業種別にみると、金属製品工業、鉄鋼業、電気機械工業等の生産が低下。  
 品目別にみると、橋りょう、ガス温風暖房機、普通鋼冷延広幅帯鋼などが低下に寄与。
- ・ 全国の11月（確報）の鉦工業生産指数は、86.7。前月比 1.4%と2カ月ぶりの低下。総じて見れば、横ばいの傾向。  
 出荷は、前月比 0.8%の86.8と3カ月連続の低下。在庫は、前月比 1.2%の106.4と4カ月連続の低下。  
 業種別では、一般機械工業、金属製品工業、情報通信機械工業等などが低下に寄与。  
 製造工業生産予測調査によると、12月、1月とも上昇を予測している。

# ～ 輸出入 ～

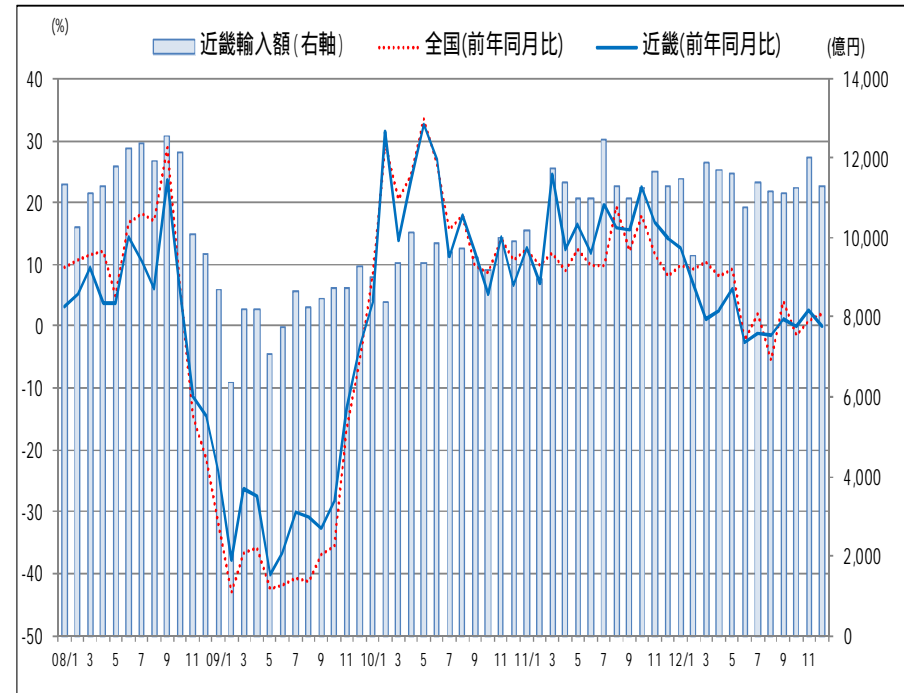
輸出金額・前年同月比増減率推移（2012年12月まで）



近畿の月次の輸出動向（2012年12月まで）

- 12月の近畿の輸出額は1兆1,845億円、前年同月比 2.4%、16カ月連続の前年同月比マイナス。
- 建設用・鉱山用機械、半導体等電子部品等が減少。
- 地域別では、アジア向けが前年同月比 1.3%2カ月ぶりのマイナス。うち中国向けは同 9.5%と13カ月連続のマイナス。  
EU向けは同 11.3%と17カ月連続のマイナス、米国向けは同 1.3%と2カ月連続のマイナス。
- 全国の12月の輸出額は5兆3,003億円、前年同月比 5.8%。

輸入金額・前年同月比増減率推移（2012年12月まで）



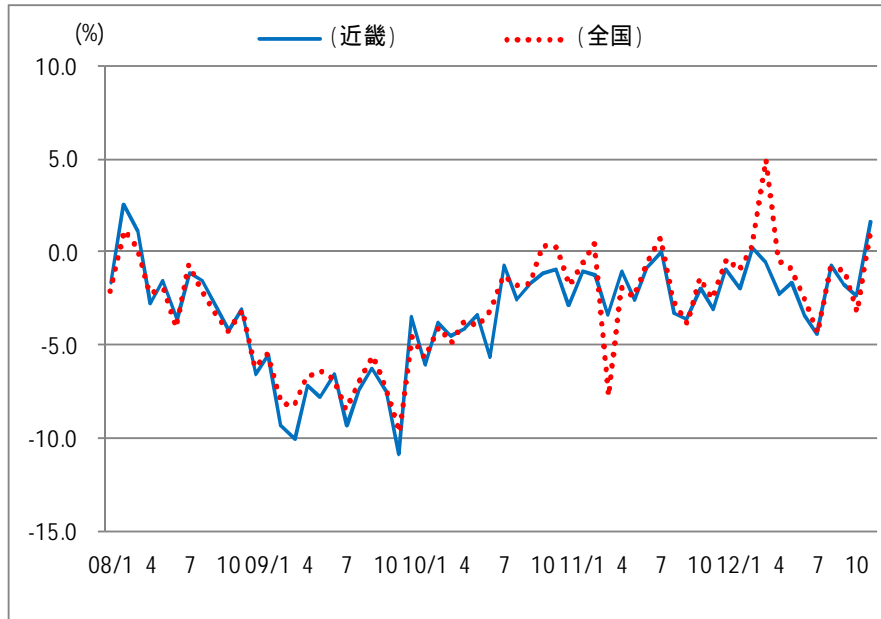
近畿の月次の輸入動向（2012年12月まで）

- 12月の近畿の輸入額は1兆1,291億円、前年同月比 0.1%と4カ月ぶりのマイナス。
- 鉄鋼、鉄鉱石、天然ガス及び製造ガス等が減少。
- 地域別では、対アジアが前年同月比 2.7%と2カ月ぶりのマイナス。アジアのうち対中国が同 3.6%と2ヶ月ぶりのマイナス。対米国が同 +13.7%と2カ月ぶりのプラス。対EUは同 1.3%と2カ月連続のマイナス。
- 全国の輸入額は5兆9,418億円、前年同月比 +1.9%と2カ月連続のプラス。

出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿)

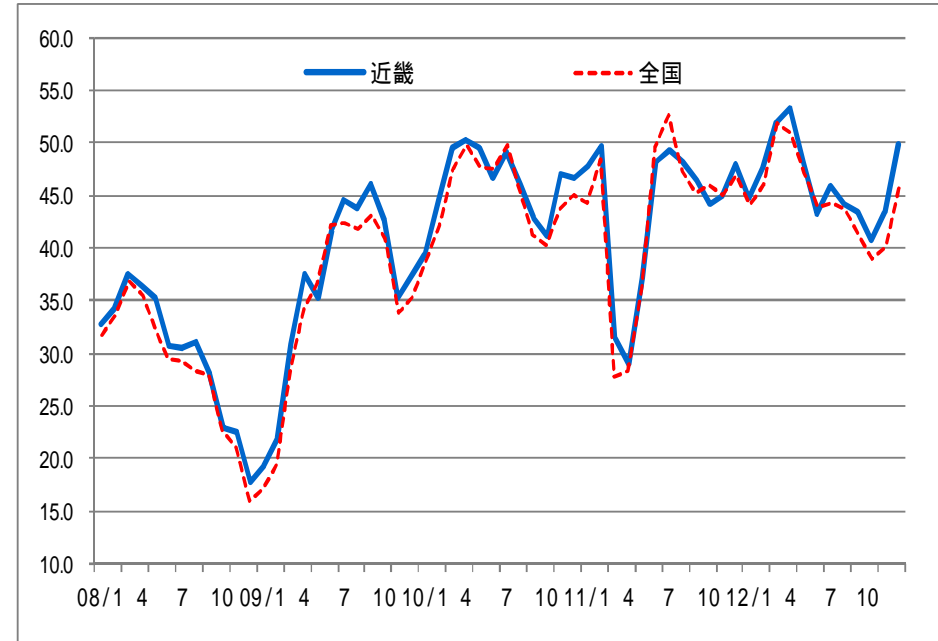
# ～ 個人消費 ～

大型小売店販売額（前年同月比・2012年11月まで）



（出所）近畿経済産業局

景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性 2012年12月まで)



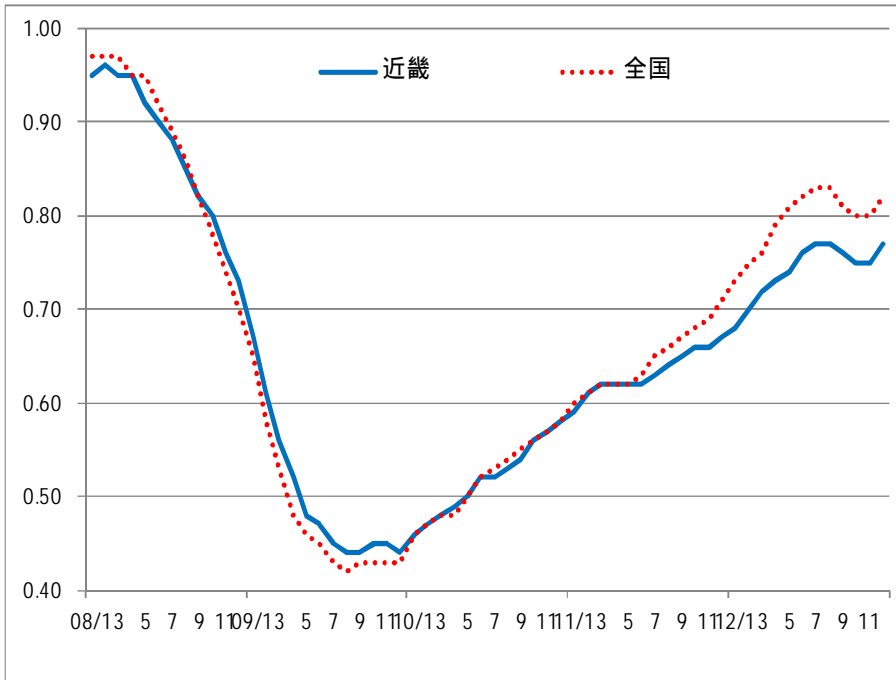
（出所）内閣府

- ・ 近畿の11月の大型小売店(百貨店 + スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比 + 1.8%と9カ月ぶりのプラス。
- ・ スーパーは同 0.5%と48カ月連続のマイナス。
- ・ 百貨店は同 + 5.1%と2カ月ぶりのプラス。
- ・ 一部店舗の増床・リニューアル効果に加え、気温の低下により冬物衣料が好調であったことからプラスに。
- ・ 全国の11月の大型小売店販売額(既存店ベース)は同 + 0.9% 8カ月ぶりのプラス。

- ・ 12月の近畿の現状判断DIは前月比 + 6.3ポイントの49.8と、2カ月連続の上昇。  
気温の低下により季節商品の販売増加等により上昇。
- ・ 全国の12月の現状判断DIは前月比 + 5.8ポイントの45.8。
- ・ 近畿の12月の先行き判断DIは前月比 + 7.9ポイントの53.6と3カ月連続の上昇。
- ・ 先行きは、新政権発足後の経済対策、円高の緩和・株高に対する期待から上昇
- ・ 全国の先行き判断DIは同 + 9.1ポイントの51.0。

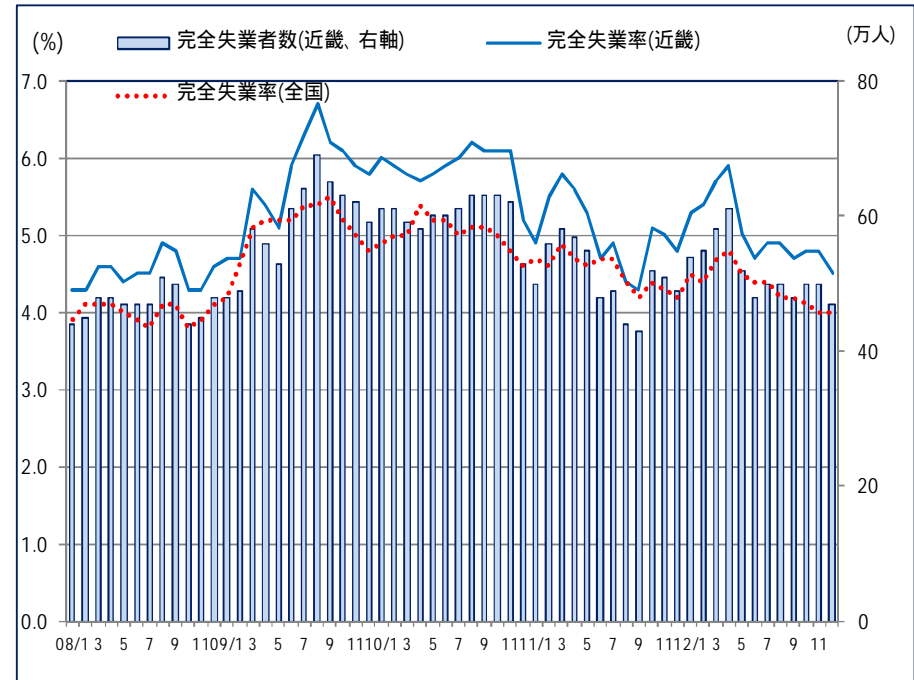
# ～ 雇用 ～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2012年12月まで）



（出所）厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2012年12月まで）



（出所）総務省「労働調査」

地域別有効求人倍率2012年12月

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
11月	0.80	0.62	0.89	0.83	0.79	0.92	0.92	0.75	0.91	0.83	0.66
12月	0.82	0.64	0.93	0.83	0.79	0.93	0.94	0.77	0.93	0.86	0.67

・2012年12月の近畿の有効求人倍率は0.77倍、前月から0.02ポイントの改善。

・全国は0.82倍で、前月から0.02ポイントの改善。

・12月の近畿の完全失業率（原数値）は4.5%。前月から0.3ポイントの改善。

前年同月比では 0.3ポイント改善。

・わずかに改善の動きが見られる。

・12月の全国の完全失業率（原数値）は4.0%、前月から横ばい。

・12月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.2%、前月から+0.1%の悪化。